

2019年5月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 5月えんだより

5月聖句 「天の下にあるすべてのものはわたしのものだ」

<ヨブ記 41 章 3 節>

朝晩も暖かくなり、日中は半袖のシャツで過ごす子ども達を見ますと、春から初夏を感じます。早いもので、ご入園、ご進級から一ヶ月が経ち、クラスの子も達もゆっくりと新しい環境に慣れてきました。泣き声も少しずつ聞こえなくなっていますが、行きつ戻りつ、変わっていきます。安心して、ゆっくりと子ども達の育ちを見守っていきましょう。

さて、私は初めて保育園に赴任した時に、「先生！蜂の巣があるので、退治してください」と言われて、道具をもって見に行きますと「え？蜂の巣つぶすの？蜂のお家が？かわいそう！」と、子ども達に言われたことがあります。先生が言うことも、子ども達が言うことも、正しいことですから、困惑したことを覚えています。又、園の礼拝で「全てのものは神様によって創られましたよ。」とお話ししますと、「犬も？猫も？」「え、蛇も蚊も？」と子ども達の素直な意見が返ってきます。「え？何で？」と不思議そうな表情をする子ども達は、人にとって有益では無い生き物まで、何故神様は創ったのだらうと率直に思ったのでしょ。

強い信仰を持って、熱心に祈りを捧げる者が、自分の病気を癒してくださいと、何度も祈ったけれど、聞きいれられないお話しが聖書の中にはいくつもあります。何故、私だけがこんな辛い目にあうのだらうか？何と耐え難い不条理なことにあうのだらうと感ずることは、私達の生活にもあります。そんな時には、神様なんて本当にいるのだらうか？神も仏もないと思うのは当たり前なのでしょう。しかし、願ったから叶う、祈ったから見返りがあるという考えは、一方では、人が神様を自分の支配に修めること、人間が納得のいく神を求めることとも言えます。自らの納得のいく限りにおいては、それに従い忠実に振舞うが、意に添わないと離れていくとも理解できます。本当の信仰や信ずることは、そこから始まるのではないかと思います。

何度も同じことにつまずき、何度言われても、失敗しても、それを生かしていくことや信じて機会を持つことが大切ではないかと思います。特に今は、間違いがあると許されないことが多い時代と感ずます。そうしますと、失敗を恐れて動けない、失敗をすることが悪であるという感ず覚に覆われているとも言えます。「天の下にあるすべてのものは、神様がつくられたもの」一つ一つの出来事も神様から与えられた機会ととらえると、そこから学ぶものは大いにあると感ずるのです。

年主題 『ことばに満たされて～ひびきあう～』

5月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	なんだろう	感ずる
月の願い	＊まわりに目をむけ、手を伸ばす ＊園生活や保育者に慣れ、安心して過ごす	＊ 聖書の話や讃美歌に親しむ ＊ まわりの人々、社会、世界の出来事にも目を向けて恵みをわかちあう ＊ 友だちや遊びの中で心を動かし、自ら関わろうとして一歩ふみ出す。
讃美歌	ひとりひとりの なを よんで	どんなに ちいさいことりでも こども改 58